



## ご挨拶

本日は“*A-Winds 18*” 2005年 夏の演奏会にお越し下さり誠にありがとうございます。「こころ豊かな文化の香り高き町：大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で、皆様方にこうしてお逢いすることができましたことに*A-Winds*一同心より感謝しております。

我々 *A-Winds* 奈良アマチュアウィンドオーケストラは、1999年10月の発足と同時に活動を始めて以来1999年12月のデビュー演奏会を始めに5年余りの間に17回の演奏会を開催し、おかげ様をもちまして団員も50名余りに成長することができました。これも皆様方の御指導、御支援あってのことと厚く御礼申し上げます。

*A-Winds* の運営のコンセプトでもある、音楽面は勿論のこと運営面も含む音楽活動全般において、自分の代役は自分にしかできないという団員一人ひとりが『主人公』の意識のもと、音楽に溢れる喜びに身を埋め、芽生え始めた責任とやりがい、また新しい活動に繋がりますよう思いを込め、団員を代表しまして一句詠ませていただきます。

たんぎくに 織姫の音 聴きたいな♪

今後とも、暖かい御指導、御支援の程、宜しくお願い申し上げます。

*A-Winds* 奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 魚谷昌克

本日はお忙しい中ご来場いただき誠にありがとうございます。

今回の演奏会は『実行委員長のわがまま連続企画』～団員指揮者が替わればどんな演奏？ リメイク特集 その1～』と題しての2回連続企画の第1弾となります。

1999年のデビュー演奏会以来、ただひたすら前を向いて突っ走ってきた *A-Winds* ですが、来年の春には第20回の演奏会を迎えます。その節目を前に、誠に短い歴史ではありますが、これまでの足跡を振り返ることで、*A-Winds* が次のステップへ踏み出す足掛かりになればと思ひ立ち、企画致しました。

もちろん、“ただの自己満足な企画”ではなく、今回のプログラムを初めて聴いて頂くお客様へは新鮮な感動を、以前にご来場頂いたお客様には懐かしさと共に新たな感動をお届け出来なくてはなりません。初めて演奏する団員を交えて、二度目の演奏になる団員もこれまでにない楽しさを表現できるように、*A-Winds* 一同一つになり、これまでを振り返りつつ、新たな道程を心を込めて演奏したいと思います。どうぞ、最後までごゆっくりお聴き下さい。

最後に、本公演開催にあたり関係各方面より多大なるご支援賜りました事を演奏会実行委員と団員を代表して厚くお礼申し上げます。

“*A-Winds 18*” 2005年 夏の演奏会実行委員長 佐藤 司



## *A-Winds* 奈良アマチュアウィンドオーケストラ

Piccolo  
佐藤 由加里

Flute  
佐藤 司  
魚谷 陽子♪  
紀 和美

Oboe  
松本 紘子

E♭ Clarinet  
長尾 恭子

B♭ Clarinet  
畑澤 淳子  
辻 美保  
植田 洋美  
竹村 明恵  
森本 幸恵  
栗原 茂美  
和田 麻佑  
大江 奈々

Alto Clarinet  
大西 晴巳

Bass Clarinet  
尾崎 玲奈

Fagotto  
萱原 美華子  
満江 孝文

Alto Saxophone  
島田 博一  
田中 香菜絵

Tenor Saxophone  
初岡 和樹

Baritone Saxophone  
鹿野 麗子♪

Horn  
小川 貴子♪  
久野 耕三  
次田 哲平♪  
小林 計昭  
池原 裕子  
早野 香 ☆

Trumpet  
大西 伸幸  
國元 昌広  
表 恭子  
吉川 茂宏♪  
篠木 章江

Trombone  
萱原 淳嘉子  
上田 純子  
辻 淳也  
岡田 卓也

Euphonium  
大西 善郎  
忠澤 直美

Tuba  
平野 幸子  
吉田 新司

St. Bass  
栗岡 まさみ♪  
尾崎 拓也♪

Percussion  
平井 晶子  
下村 智子  
板垣 麻子  
辻 歩美♪  
久保 寛恵  
川本 理恵  
豊川 史香  
河津 雅之☆  
鈴木 郁世☆

Piano  
八木 真木

Conductor  
魚谷 昌克

☆エキストラ  
♪休団  
♪2005夏の演奏会実行委員



## *A-Winds* メンバー募集

- ・募集パート
  - クラリネット 1名
  - オーボエ（イングリッシュ・ホルン） 1名
  - チューバ（C管かB♭管の楽器所有の方） 1名
  - ・A-Windsの活動趣旨（ウィンドアンサンブル&オリジナル重視）に賛同頂ける方
  - ・ご自分で楽器を準備できる方
  - ・全ての活動に賛同頂ける方
  - ・18歳以上の方
- 問い合わせは先<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp



2005年6月26日(日) 14:00開演  
やまと郡山城ホール大ホール

主催 ● *A-Winds* 奈良アマチュアウィンドオーケストラ  
後援 ● 大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟



## プログラム

### 指揮：魚谷昌克

#### 第1部

### 祝典のための音楽

#### MUSIC for a FESTIVAL

作曲者：フィリップ・スパーク / Philip Sparke

出版：STUDIO MUSIC COMPANY

### 船乗りと海の詩

#### Songs of Sailor and Sea

作曲者：ロバート・W・スミス / Robert W. Smith

出版：BELWIN-MILLS PUBLISHING CORP. (ASCAP)

#### 第2部

### ハノーヴァーの祭典

#### Hanover Festival

作曲者：フィリップ・スパーク / Philip Sparke

出版：Anglo Music Press

### ザ・セブンス・ナイト・オブ・ジュライ～たなばた～

#### The Seventh Night of July -TANABATA-

作曲者：酒井格 / Sakai Itaru

出版：DE HASKE Music Publishers Ltd.

### ラザロの復活

#### Raising of Lazarus

作曲者：樽屋雅徳 Taruya Masanori

出版：CAFUA Records Inc. (レンタル)



## 曲解説

#### 祝典のための音楽／フィリップ・スパーク

この作品は1985年にロンドンで催された“全英ブラスバンド選手権”のユース部門決勝の課題曲として作曲されたブラスバンドのためのオリジナル作品です。本日お聴きいただきますウィンドバンド版は、ロンドンのハウンスロー・ウィンド・オーケストラの指揮者クリス・フッカーの委嘱により、1987年に書かれました。

曲は、スピード感溢れる第1楽章、吹奏楽では珍しくファゴットがソロを受け持ち美しくかつ雄大な第2楽章、そしてリズムカルな第3楽章からなり、この3つの楽章が休みなく演奏されるという構成になっています。

#### 船乗りと海の詩／ロバート・W・スミス

～海。全ての生命の源である母なる海。神秘の海。希望の海。人はそこに富と名誉、そしてロマンを求め、旅立つ～  
この作品は、そのような海に魅せられ、海とともに生きる船乗りたちをたたえたものとなっています。「水夫の歌」と題がつけられている第1の場面。冒頭のトランペットとホルンのデュエット。これは実際に水夫が錨を揚げるときの歌から作られていて、曲は今まきに出港していく船の情景と大海原に向かって軽快に進んでゆく様子を描写しています。「くじらの歌」と題がつけられている第2の場面。雄大に泳ぐくじらの歌声をユーフォニアムが、打楽器の特殊奏法でくじら達の会話を表現し、オーボエが故郷を懐かしむ水夫の歌を奏でます。「快速帆船のレース」と題がつけられている第3の場面。ホルンのファンファーレの後、各船たちが競い合う様子を第1の場面で使われた旋律をそのまま、あるいは形を変えて演奏されつつ、そして最後は港に戻って行く様子を描写しながら曲が閉じられます。

#### ハノーヴァーの祭典／フィリップ・スパーク

この作品は1999年、アメリカのニュージャージー州で活動する市民バンド、ハノーヴァー・ウィンド・シンフォニーの創立15周年を記念して書かれました。ニュージャージー州はハドソン川を挟んでニューヨークと接する住宅地域であり、またさまざまな分野の工場が立ち並ぶ一方で、森や湖、美しい海岸平野が続く自然豊かな地域でもあります。

曲は、ホルンと打楽器によって静かに、かつ荘厳に始まる序奏に金管楽器が華やかに続き、木管楽器も美しい音色を重ね合わせながらコラール風な旋律を奏で、これが高まってクライマックスとなり序奏が終わります。テンポを上げて主部へ突入し、序奏の終わりの部分での主題を木管楽器が奏でます。金管楽器のおおらかなテーマも加わり木管楽器のトリッキーな部分を経

て、対象的に中音楽器が長い主題を表わします。再び木管楽器の変換部の後に中音楽器による新しい主題も顔を出し、曲はコーダに入ってテンポを落とし、序奏の主題を経た後テンポを速め一気に終わります。

#### ザ・セブンス・ナイト・オブ・ジュライ～たなばた～／酒井格

五節句の1つである七夕は旧暦7月7日の行事であり、中国から伝来した宮廷の行事と日本古来の農村の行事を起原とし、その歴史は古く奈良時代（8世紀中頃）までさかのぼることができます。  
この曲の中間部に登場するアルトサクソフォンとユーフォニアムのソロは、天の川に隔たれ1年に1度七夕の夜にだけ逢う事が許された、織姫（こと座のヴェガ）と牽牛（わし座のアルタイル）を表しています。曲の後半では、流れ星を表したスケールもあり、7月の天空の情景を色々な技法で表している愛らしい曲です。

#### ラザロの復活／樽屋雅徳

この曲は聖書の物語を描いた同名の絵画をモチーフに作曲されています。友であるラザロの死を知ったイエスが「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない」そして「信じるなら神の栄光がみられる」と天に祈り、「ラザロ、出てきなさい」と叫ぶと、四日前に埋葬されたラザロが生き返り、洞窟から歩み出てきたという物語りです。  
曲は生と死の狭間でもがくラザロに救済の手を差し伸べるイエスの姿が描かれ、現実にはありえない「復活」という奇跡を吹奏楽ではあまり使われない調性（Ges-dur＝変ト長調）を使用してその神秘的な雰囲気表現しています。



## ご案内

#### *A-Winds19* 2005年 秋の演奏会 「第3b回奈良県芸術祭参加」

2005年11月6日(日) 14:00開演

『実行委員長のわがまま連続企画

団員指揮者が替わればどんな演奏？ リメイク特集 その2』

と題しまして“デビュー演奏会”から“*A-Winds18*”で取り上げました曲の中から、特に人気があり、違う指揮者でリメイクしたい名曲を4曲お届け致します。前に聴かれた方には違う感動を、もちろん初めて聴かれる方にも感動を……。皆様のご来場お待ちしております。

*A-Winds19* 2005年 秋の演奏会実行委員長 佐藤司